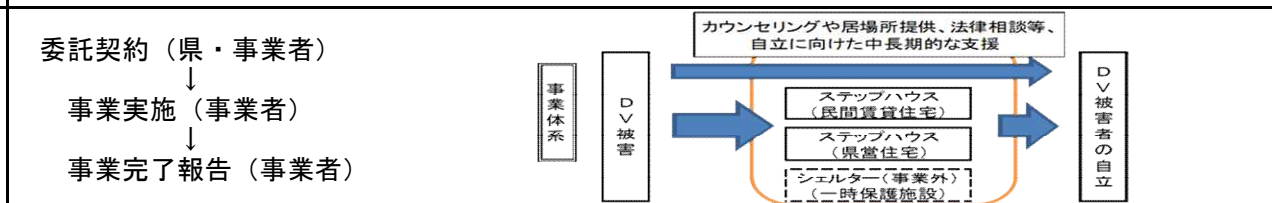


ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

レビュー項目 (事業名)	オンライン技術を活用したDV被害者相談の実施 (DV被害者等セーフティネット強化支援パロト事業)			部(局)	福祉部	
				所管課	児童課	
				担当班	児童福祉班	
				連絡先	078-362-3198	
開始年度	令和2年度	終了年度		関連計画等	兵庫県DV防止・被害者保護計画	
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )			実施主体等	NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ	
事業目的	DV被害者の相談から避難(一時保護)、自立に向け、同伴する子どもの支援も含めた切れ目のない、きめ細かい支援が一層必要な状況であり、本事業を行うことでDV被害者の自立促進を推進する。					
事業概要	①DV被害者自立支援事業 シェルター(一時保護施設)退所後のDV被害者等の孤立防止や自立へのサポートのため、ソーシャルワーカー等が常駐する場を提供し、弁護士による法律相談や産婦人科医・助産師による体の相談、精神科医等によるメンタルヘルス相談など専門家相談を実施 ②ステップハウス運営事業 すぐに自立した生活が難しいDV被害者等に対して、借り上げた民間賃貸住宅・県営住宅をステップハウスとして提供し、状況に応じた相談に対応できるようスタッフを配置する。					
これまでの改善状況	R4～ ステップハウス運営事業の拡充(県営住宅を活用) ※ 民間賃貸住宅: カウンセリング等比較的手厚い支援が必要な者への支援 県営住宅: 自力で生活したい意欲や能力のある者への支援(家賃支払いや自治会活動等が必要)					
業務フロー						
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額
	事業費①		4,989千円	7,837千円	10,000千円	10,000千円
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
		委託料	4,989千円	7,837千円	10,000千円	10,000千円
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	(財源内訳)	(国庫)	(4,989千円)	(7,837千円)	(10,000千円)	(10,000千円)
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		7,837千円	7,837千円	10,000千円	10,000千円
	執行率((①/②)×100)		63.7%	100.0%	100.0%	100.0%
	人件費③(a+b+c)		従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人
			830千円	874千円	862千円	862千円
職員給与費 a	719千円	761千円	751千円	750千円		
賞与引当金繰入額 b	58千円	58千円	58千円	57千円		
退職手当引当金繰入額 c	53千円	55千円	53千円	55千円		
総コスト(①+③)		5,819千円	8,711千円	10,862千円	10,862千円	

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標(アウトカム指標①)	目標				
実績(見込)							
(単位当たりコスト)			--	--	--	--	
達成率(見込)			--	--	--	--	
成果指標(アウトカム指標②)		目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率(見込)	--	--	--	--	
成果指標(アウトカム指標③)		目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率(見込)	--	--	--	--	
指標	活動指標(アウトプット指標①) カウンセリング・弁護士相談等実施回数	目標	110	112	112	112	単年度毎に設定
		実績(見込)	120	165	(110)	(112)	
		(単位当たりコスト)	(48千円)	(53千円)	(99千円)	(97千円)	
		達成率(見込)	109.1%	147.3%	(98.2%)	(100.0%)	
	活動指標(アウトプット指標②)	目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率(見込)	--	--	--	--	
	活動指標(アウトプット指標③)	目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率(見込)	--	--	--	--	
目標	終期設定	有 ( ) ・ (無)					
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況(総合的評価)			
	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など	・これまで、DV被害者に対する中長期的な支援を行う拠点等がなかったため、孤立しがちなDV被害者への支援の場として有効であったと考える。 ・DV被害者の自立について、何を以て自立とするか判断が難しく、成果指標を設定することは困難である。		・相談件数やステップハウスへの入居実績が増加していることから、孤立しがちなDV被害者の支援の場として有効活用されている。 ・より多くのDV被害者の自立に向けた支援をしていくためには、拠点数の充実が必要ではあるが、人材が限られている。 ○ DV被害者支援拠点・・・1カ所 ○ ステップハウスの戸数 民間：R2～3・・・2戸 R4～・・・3戸 県営：R4～・・・3戸			
	○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など	・事業の性質上、受益者負担は望めず、国庫補助を有効活用している。 ・民間事業者への委託事業として実施することで、効率的な運営に努めている。					
課題・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 { ・DV被害者支援施設等の数が少ないため、特に遠方被害者への支援が不足していること、DV被害者の自立の判断が難しく成果指標設定が困難であることが課題 ・遠方のDV被害者も相談しやすい体制を確保するため、相談内容に応じて可能な範囲で相談対応オンライン化を検討 ・事業実施による効果を図れる適切な目標設定を検討             }						
外部委員会意見	・オンラインで匿名相談出来る仕組みは重要である。ただ、弁護士相談などすべてをいちどにオンライン化するのは難しいので、まずは最初の相談をオンライン化すべき。 ・オンライン化後の電話相談件数等の変化を分析し、その件数が減ったことがオンライン化の成果となる。 ・アウトプット指標について、カウンセリング相談数、弁護士相談実施数など細かく設定すべきである。DV被害者等がネット検索でこのレビューシートを見れば、県がこんな支援をしていると気づく可能性がある。 ・アウトカム指標については、設定が難しいし、外部に公表すべきでないかもしれない。設定にあたっては慎重に検討されたい。						
改善結果							
遠方のDV被害者であっても中長期的な支援を受けることができるよう、民間事業者のオンライン相談を推進することとし、ICT化に必要な経費を支援する。							